

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	工業用動物細胞を用いた統合バイオプロセスに関する基盤的研究
研究代表者	大政 健史 (大阪大学・工学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者の工業用動物細胞（CHO細胞）のゲノム育種に関する研究業績は国際的にも高い評価を受けている。また、CHO細胞による抗体医薬生産は世界的にも重要な競争分野であり、喫緊の研究課題である。このゲノム育種と連続培養プロセスを統合する基盤プラットフォームの構築において、連続培養プロセスにおける課題の絞り込みに若干の懸念があったが、この構築は、学術的にも、生物工学分野や、バイオプロセス工学分野などにも多大な影響を与える可能性がある。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>